

IPTVアクセシビリティコンソーシアム オンラインセミナー 開催のご案内

元日を襲った最大震度7の揺れは、能登半島を中心に238人の命を奪い、いまなお約1万4千人が避難所での生活を余儀なくされています。能登地方では道路や水道といったインフラやライフラインが壊滅的な被害を受け、復旧支援にも影響しました。

オンラインセミナーでは緊急災害時にメディアはどう対応したのか。震災下で浮き彫りになった合理的配慮のあり方。特に情報保障についてなど、現地取材や当事者のお話を交えて、多角的に検討します。どなたでも、お気軽にご参加ください。

「能登半島地震の現状とアクセシビリティ — 震災が浮き彫りにした合理的配慮と課題 —

◆日時: 2024年3月7日(木) 14:30-16:30 (開始時間を変更いたします)

◆参加申込: 当日、ZOOMにてオンライン配信をいたします。

リアルタイム字幕、手話を付与いたします。

参加費無料 Googleformにて、参加登録をお願いいたします。

<https://docs.google.com/forms/d/1t7ZNeKkqrNOegVkJLoVnKX3fa07e1FEWZP1GfJDrbEU/edit>



主催: IPTVアクセシビリティコンソーシアム

◆ご登壇者(予定)

1 能登半島地震にメディアはどう対応したのか

- 株式会社ニューメディア 吉井 勇 出版局長
月刊ニューメディア編集部 ゼネラルエディター

2 能登半島地震の被災と支援の現状

- 日本盲人福祉委員会 指田忠司 常務理事
- 全日本ろうあ連盟 理事 (調整中)
(補足発言)「地震直後の現地取材でつかんだこと」 障害者放送通信機構「目で聴くテレビ」取材チーム
- 手をつなぐ育成会連合会 西恵美 副会長
- ビデオメッセージ: 「情報を一刻も早く伝える大切さ実感」
岩手大学技術部理工学系第一技術室 千葉寿 技術室長

3 アクセシビリティについて国際的な議論の現状

- 慶應義塾大学 川森 雅仁 特任教授

*お問合せ: メールにてお願いいたします。

事務局

株式会社アステム 担当: 滝沢
takizawa@astem-co.co.jp